



\*\*\*\* NEW ZEALAND 特集 \*\*\*\*

【平成30年度 ニュージーランド Columba College 姉妹校研修報告会】 11月20日 (火)

恒例であるが、報告会では司会から方針説明・通訳まで、全てを研修生が担当し①研修目的・方針②事前研修の内容③現地での生活④プレゼンテーション等が語られた。この研修におけるグローバル教育とは緊密化した現代の社会においてどのように生きていくかを学ぶことである。従って、「自国を知り、新世界で生きるための創造的知性の育成や国外の人間関係」が特に重視され、研修生は選抜直後から、これに即した厳しい研修に参加



した。勿論、研修生は創造的知性を磨くための社会経験や提言作りの他に、現地では授業、放課後のカフェや体育館・遊戯室でのスポーツなどの学校生活を楽しみ、週末はファミリーと乗馬・ラーナック城・市内見物を楽しみ、コロムバの学生・ホームステイ先の家族やその他の現地の方々との交流を通じ、コミュニケーション能力(幅広い教養や英語・独語・中国語など語学力)を高め、世界に仲間を持つことは研修生にとっても国にとっても大切なことであり、これらを踏まえ、いつの日にか国際問題を電話一本で解決できる人間関係に深化できたら嬉しい。

ところで、紙面の関係上、ここではプレゼンの内容を中心にまとめていきたい。Columba College では① Education~to find the purpose of studying~②To Make a Happy Life~Let's start positive working!~の2つのプレゼンテーションを行った。①では「Problem of present education at Hibiya High School」を「Students cannot learn actively」と考え、これに対して、TERAKOYA(1.Diversification of educational material 2.Connecting jobs with classes 3.Solving actual social issues) からヒントを得て、夢と目的を意識した学習・教師への要望・他年齢との意見交換授業などの提案がなされた。研修生は実際に Columba の教育を受けてみて、実体験したようである。

<p><b>2.Connecting jobs with classes</b> ・Terakoya</p> <p>Hard to imagine yourself working in society</p>	<p><b>2.Connecting jobs with classes</b> Teachers Having much experiences in society</p> <p>↓</p> <p>Students can imagine their futures</p> <p>↓</p> <p><b>Purpose of studying become clearly</b></p>	<p><b>Our suggestion: New type of lesson</b></p>
---	---	--

一方②では、「What is needed to live a happy life?」を「To be satisfied with jobs」とおさえ、  
1.To make use of “praisend” (praise each other and develop the talent)というアプリ開発や、  
2.To the way of education for employees (raise workers’ motivation)という制度導入を提案した。

研修生は(株)JALや(株)NZ リンナイなど国内外の企業研修から多くのことを学べたようだ。

<p><b>Our suggestion 1</b></p> <p><b>"praisend"</b> ①not troublesome</p> 	<p><b>Our suggestion 2</b> ~Education of employees~</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>To Live Wonderful Life ...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Successful equation</li> <li>• Think right way</li> <li>• Continue making effort with eagerness</li> <li>• Ability always progresses</li> </ul> </div> <div style="width: 45%;"> <p>To Be Great JAL ...</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>• Each person is JAL</li> <li>• Raising awareness of profitability</li> <li>• Bring our hearts together</li> <li>• Become a burning group</li> <li>• Always Be creative</li> </ul> </div> </div> <p style="text-align: center;">JAL philosophy</p>	<p>①make small groups and discuss the company motto</p>  <p style="text-align: right;">ability to judge by themselves</p>
--	---	--

報告会にご臨席頂いた NZ 大使館参事 Ms.Carolyn からは、「①に対し、私は生徒達の勇気を感じた。それは違う国に行く勇気。違う言葉話す勇気である。しかし、もう一つ加えておきたい。一番の勇気は、間違えることだ。創造的になるには勇敢になり、新しいことをするには間違いを恐れないことが大切である。また、②に対しては、Happy Life を過ごすのに大切なのは柔軟性である。人生は常に変わり続ける。その中で、夢を叶えるチャンスをつかむには柔軟性を持たなければならない。なぜなら夢も変わり続けるからだ。実際、最初に大使館で会った時と比べて、あなた達は驚くべき成長を遂げている。あなた達のスピーチから、あなた達がどう成長したかや、どう困難を乗り越えたかを知ることができた。世界の将来は明るいだろう。なぜならあなた達がいるからだ。今日、私は故郷の町の写真を見たり、生徒達の成長を感じたりすることができ、本当に良かった。」とのフィードバックを頂いた。また、一橋大学教授 Ms.Ahmadjian からは、「あなた達のプレゼンは素晴らしかった。あなた達は既にグローバルリーダーであるが、私からは2つのアドバイスをする。①については、教育や仕事についてのアイデアは創造的で素晴らしかったが、創造的になることだけでは十分ではない。それを実際に行うことが重要である。あなた達はこの世界を変えていかなければいけない存在であり、チェンジリーダーとなる必要がある。②については、夢を見つけることだ。たとえ探せなくても、見つけようとするのが重要である。また、心地よい経験を大切にすること。あなた達は、ニュージーランドに行き、言葉のあまり通じない状況で生活したが、それでも既に心地よい経験をしてきた。重要なのは、それを続けることだ。」とのフィードバックを頂いた。(いずれも生徒の和訳メモより)

<ご臨席者> Carolyn.Guy 様 (NZ・大使館参事)・北岡美佐様 (NZ・Education)・Christina L. Ahmadjian 様 (一橋大学教授)・日比谷武様 (上智大学教授)・関成孝様 (ハーバード・クラブ・ジャパン)・日江井俊夫様 (読売新聞東京本社)・杉江和男様 (公益財団法人産業教育振興中央会)・堀内明様 (東京都指導部指導企画課統括指導主事)・勝嶋憲子様 (東京都指導部高等学校文化振興担当課長) なお、当日は突然の会議で浅野大介様 (経済産業省教育室長)・西澤 宏繁様 (東京都産業教育振興会会長) はご都合が悪くなりました。

**【上智大学・日比谷教授訪問】** 11月6日(火) (生徒報告から。)

ニュージーランド姉妹校交流の事後研修として、上智大学の日比谷教授を訪問しました。日比谷教授は、昨年訪問した富士ゼロックスでお世話になった方で、現在は上智大学にて教鞭をとられています。

まず、私たちがニュージーランドで行ったプレゼンテーションを発表し、日比谷教授や上智大学の生徒の方々からフィードバックをいただきました。経験豊富な日比谷教授や、私たちが以前訪問した JAL でインターンシップを行った大学生からの意見は刺激的でした。また、日比谷教授からグローバル化についてのお話をいただきました。ニュージーランド研修の締めくくりにふさわしく、有意義な訪問となりました。その中で、特に「不易流行」や 'Think globally, Act locally' という言葉が印象に残っています。これらの言葉は、グローバル化の流れに乗るだけではだめで、古典などから日本だけの知恵や強みを学んでいかなければいけないのであり、変えることと変えてはいけないことを見極めること、世界規

模で考え地域で行動するというので、これを胸に日々の勉強をこつこつと取り組んでいきたいです。また、日比谷教授の、「人生は学びと出会いの心旅」という言葉にあったように、この研修は学びと出会いについて考えさせられるものでした。その出会いは私たち自身が作り出すものであり、自ら積極的に自己成長の場を求めて、主体的に学ぶ姿勢を大切にしたいです。これから 10 年後どうなっていたいのか、そのために 3 年後、3 か月後、今何をすべきかを考えるべきであり、偉人伝などから昔の人の考え方や物のとらえ方を知ることによって、自分を磨き教養を深めることができることもわかりました。「真の人間の魅力」というものを身に着けていきたいと思いました。

**【一橋大学商学部選抜クラス】(12月10日)**

姉妹校研修報告会にご臨席頂いた Ahmadjian 教授が、本校研修生徒の発表の質・英語力の高さに驚かれ、一橋大学商学部選抜クラスの授業(学生 20 人ほどのゼミ形式)にお招きくださり、研修予定にはなかった一橋大学の学生との討論を行った。テーマは「Human Rights in Business」であり、さすがに一橋大学の選抜クラスだけあって、まるで海外の大学にいるような英語での活発な応答のある授業であった。しかし、本校研修生は、使い慣れないビジネス英語のリスニングも克服し、大学生に引けも劣らず、良い意見を述べ、学生や我々を驚かせた。

生徒の意見(抜粋)

First of all, Ms.Sato said that accountability and transparency are the key for achieving effective HRDD.

They are also related to CSR. . . . .

The most interesting thing was the problems which are especially caused by globalization. . . . .

I think we should introduce the idea of UNGP in the early steps of education. I didn't even know the name of it at first, but it's an essential view for our future. Through the lecture, I thought it is important for each person to consider business problems as "our rights ' problems", and think how we can get over it to develop our country's economy. . . . .

\* これからの時代は 従来の方法が役に立たないことも予想され、全く新しい発想が必要となる。そのために現状を分析し、オリジナルのアイデアをまとめ発表する訓練が必要である。この研修では、ニュージーランド大使館・JAL・経産省・上智・一橋等の大学とともに学びを進めてきた。2019 年度、本気で世界を考え勉強したい生徒はぜひ参加して欲しい。